

下田博次(しもだ ひろつぐ)群馬大学社会情報学部・情報メディア論

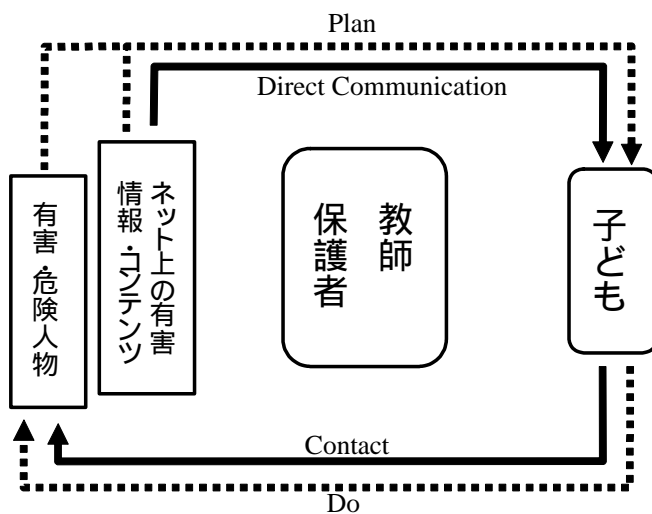
パーソナル・メディア(特に携帯インターネット)の発達、普及が子どもの意識、行動に与える影響を調査、研究

マスメディアとパーソナル・メディアを統合、融合的に使う子ども達の情報、コミュニケーション活動の実態調査あるいは子ども達に使わせる情報・メディア産業の実態調査

パーソナル・メディア(インターネット)のメディア特性を中心とした市民(保護者等)

メディア教育プログラムの制作

パーソナル・メディア(携帯インターネット)の特性解説モデル(子どもへの悪影響という視点から)提示



バイパス・チャンネルの形成

いつでもどこでも親に知られず子どもの自己責任をとまなう自由な行動を促すメディア

Virtual World 仮想世界 (Metaphor により形成される Interactive シミュレーション・モデル世界) の利用と発展が Real World (現実世界) の人間行動 (特に子どもの意識と行動) に与える影響モデルの提示

これまでの市民活動として、マスメディアとパーソナル・メディアの子どもへの影響の違いなどを中心とした市民むけ啓発活動(主に保護者向け)群馬県でインターネット時代の子育て支援のための市民インストラクター養成等

委員会では

仮想世界を作り出すメディアとしてのインターネットの理解を深める議論が必要。

子どもらがパーソナルメディアと従来のマスメディアとの融合的情報環境のなかでどのような意識形成と行動変化をみせているか、実態をもっと理解し、共通認識を持つ必要がある。

そのうえで、子ども達を誰が、どのように守るのかを議論すべきである。